

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
2010.08.01 Vol.2



地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities -- Bridging Continents



河内風穴 (滋賀県多賀町)

入口は高さ1mととても小さいですが、中に入るとその広さに驚きます。

3層構造で複雑に入り組んだ洞穴が総延長6800メートル以上、

全国で4番目に大きい風穴といわれています。

かつて犬たちをこの風穴に放ち、入口を封鎖したところ、

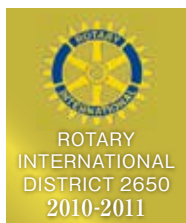
鈴鹿山脈を越えて三重県に到達したという言い伝えも残っているとか。

大正時代から観光地として整備されており、

現在では入口から200m先まで降りることができます。

Contents

ガバナーメッセージ P 2
ガバナー補佐メッセージ P 3 ~ 4
地区委員長メッセージ P 5 ~ 6
会員増強月間 P 6
ハイライトよねやま P 7 ~ 8
5月会員数の増減および出席率表 P 9
6月会員数の増減および出席率表 P 10
5月、6月入退会リスト P 11
文庫通信、HPのご案内 P 12





ガバナー・ノミニ、ガバナー・エレクトの期間を通じて、ロータリーについていろいろなことを学びました。今回は、その中の2つのことを紹介しましょう。

その1つは、今年1月に米国サンディエゴで行なわれた国際協議会で広報活動について話した、元地区ガバナーで、RI研修リーダーのジェニファー・ジョーンズ氏の講演のことです。

彼女の講演の内容は「ロータリーの友」の2010年3月号で紹介されていますので、読まれた方も多いと思いますが、カナダと米国の機嫌の悪い国境警備官に行き先を尋ねられたことから、ロータリーがきれいな水、保健と飢餓、識字率の向上、ポリオさらにはエイズをはじめ、マラリアや結核その他多くの問題について活動していることを話すと、「世界にはそんなに暇な人がたくさんいるのか」と警備官。「いいえ、多忙でも助けの手を差し伸べようと思いやる人が世界にはたくさんいるのです」と彼女。警備官は涙を流し、「その人たちにどうかお礼を言ってください———」と。その時彼女の目にも涙が。

私はその講演を聴き、ロータリーの素晴らしさに今更ながら感動し、ロータリアンであることに誇りと喜びを感じました。同時にロータリーのことを世の中の人にもっともっと知ってもらうために、努力しなければならないと痛感しました。

次に、5月末に2009～2010年度国際ロー

タリーゾーン1・2・3水対策研修セミナーが行なわれ、(財)日本ユネスコ協会の方から「開発途上国におけるユニセフが提案する水と衛生プロジェクト」と題する講話を聴くことができました。その中で世界の約6人に1人がどろや砂が混じった濁った水を飲み、また、毎日約4000人の子供が5歳の誕生日より前に命を失っている事実を知らされました。発展途上国の多くの地域では、日々の生活に使う水を遠くまで汲みに行くのは女性と子供の仕事であり、そのため、子供が学校に通うことができないこと、衛生設備のないところで何億人もの人が生活しており、屋外で排泄をしている人も多いことなど、蛇口をひねれば衛生的で清潔な水を得られる我々には、信じられないような事実を知らされました。

先進国と発展途上国との間には文明の差が生じることは我慢できるとしても、毎日多くの人命が失われていくことは何としても阻止しなければなりません。

今や水問題は世界的な課題であり、国連の対応は十分なのか、各国の対応はどうか。

レイ・クリングスミスRI会長も、今年度のRI重点事項の1つに「水と衛生設備」を挙げています。今年度ロータリー財団の事業などを通じて、この問題に積極的に取り組みたいと考えています。

同時に、個々人が水を大切にしよう呼びかけてまいりたいと思います。

国際ロータリー 第2650地区 ガバナー **栗田 幸雄**



〔決議23-34〕はロータリアンの『金科玉条』なり

ガバナー補佐・京都市域第2地区担当 古川 隆三 (ふるかわ りゅうぞう)

〔決議23-34〕は、1984年版の『手続要覧』から突如として削除されたり、更に再三にわたって、〔決議23-34〕の撤廃ないしは改正しようとする提案が、規定審議会に提出されてきましたが、その都度私たちの先達の並々ならぬ努力により、危機を乗り越えて苦難の道を辿ってまいりました。

ここに至り、2007年11月のRI理事会において、ウィリアム(ビル)・サージェント元RI副会長およびエドウィン・フタRI事務総長により、〔決議23-34〕が、社会奉仕の理念ならびにRIとクラブの原理を正確に記すものではないという理由で、これを『ロータリー章典』と『手続要覧』から削除する提案がなされました。当時日本からのRI理事(渡辺好政、小沢一彦両氏)は、これを阻止すべく懸命に水面下の交渉を重ねて、最終的にRI執行委員会提案として、2008年1月のRI理事会において、今後の『手続要覧』の改訂版に「社会奉仕に関する1923年の声明」を歴史的文章として保存すること、および歴史的な価値を有するものとして『手続要覧』に記載されていることを言及する文を、『ロータリー章典』に含めることが決定されました。(ロータリーの友2008年9月号に〔決議23-34〕への熱き思いを横組みP.25～29掲載)

そして、翌2009年1月のRI理事会で、小沢RI理事(当時)の努力によって、このたびは小沢RI理事所属のエグゼクティブ・コミティーからの提案で、〔決議23-34〕が『手続要覧』の白いページに全文を含めるという修正案が決定されました。(ロータリーの友2009年6月号に〔決議23-34〕最終報告が横組みP.19掲載)

更に、2010年1月のRI理事会において、ビチャイ・ラタクル元RI会長の要請により、その重要性に鑑み、「社会奉仕に関する1923年の声明」を今後の『ロータリー章典』および『手続要覧』に含めること、および以前のそれと反対の決定を無効にすることが決定されました。その上に、2010年6月のRI理事会で、今後〔決議23-34〕に対する如

何なる見解やそれと矛盾する見解を受諾しないように決議することが求められております。

加えて、2010年4月にシカゴ市で開催のRI規定審議会において、日本からの提案(実質3地区からの共同提案、2650地区敦賀、2770地区、2500地区釧路西)により〔決議23-34〕「社会奉仕に関する1923年の声明」の第一項を、奉仕の哲学の定義として使用することを検討するようRI理事会に要請する件が上程され、ビチャイ・ラタクルRI元会長の賛成発言などもあり、圧倒的多数で可決されました。(賛成444、反対66)

このことは、特に私たち日本のロータリアンにとっては至上の喜びであります。なお、2009～2010年度のRI会長ジョン・ケニー氏は、国際協議会での講演で、「私は常に思うのは、ロータリーの会員はすべてが指導的立場にある人々であることを忘れてはならない点です。そのような人々を前に話すとき、説き伏せたり、要求したりすべきではないと思っています。すべてのRCは自立した存在であるべきであって、RIのシニアリーダーの役割は統制することではなく、意欲を喚起し、導くことです。ガバナー・エレクトの皆さんは、世界中のロータリアンとRCに仕えるために、このサンディエゴにやって来たのです」と。

そして、次のように話されました。「“ロータリーの要は一つ一つのクラブに尽きる”そして“ロータリーのすべてはクラブに始まりクラブに終わる”、クラブはどこでどのように奉仕するのがベストかを決める「自治権」を持たなくてはなりません。私たちの仕事は、ある年度に決められた分野の奉仕のみを行うべきだと、クラブに押しつけることではないのです」。このような言葉を、RI会長から聞くのは始めてです。この素晴らしい指針を述べられたRI会長ジョン・ケニー氏の意志を、私たちは〔決議23-34〕と共に拳拳服膺いたしましょう。

そして、更に今年一年「ロータリーを良く学び、変化を知り、忘れたことを思い出しましょう」。

“この素晴らしき世界”

ガバナー補佐・京都南部担当 坂本 克也 (さかもと かつや)



昨今、“今は厳しい環境である”と多くの場所で、多くの人が言われています。

思い通りにならない面、不安な面が頭によぎり、マイナス面が強調されていることが度々あります。悪い状態を改善しようとする前向きな考えを押さえ込むこととなりましょう。

例えば、ロータリークラブで最も重要であり、いつも各クラブで話題にのぼる「会員増強」につきましても、ご努力も大変なことと存じます。しかし、その話の中で、“今は経済的に厳しい時やし、入会を誘っても無理やで……”、“こんな世界中のすべての環境が悪いのに……”などなどといった内容のお話を度々お聞きします。このようなマイナス面を考えると、向上する活力が低下するのではないのでしょうか。

何事においても、“しかし……”と前置きをして、良くない状況を考え、発言することは物事を進める前に否定的になり、前向きに進めることが抑えられているのではないのでしょうか。その時の状況においてもっと良い点、素晴らしい点を考えて、前進することも重要でしょう。この前向きに考えるためにも効果的な素晴らしい音楽を……。

最近、私は、車の中でジャズミュージシャンであるルイ・アームストロング(サッチモの愛称)の“この素晴らしき世界—What a Wonderful World”のCDをリピートして繰り返し聴いています。

自然の花、木、空の美しさ、太陽の明るさ、夜の暗さを喜び、尊び、人の成長、人間社会を詠っています。この世の環境・人生・社会をあのアームストロングの歌唱力で表現し“何と素晴らしい世界か!”と! 聴いていると心が明るくなってきます。



アームストロングは1901年生まれで、ポールハリスがロータリークラブを創設したときには5歳の少年でした。(来年の国際大会が予定されている)USAニューオーリンズのアフリカ系アメリカ人が多く住む比較的貧しい居住区で育ちました。その後少年院で楽器に出会い、楽団に加入そしてその後、楽団を結成しています。しかし活躍した1930年代は人種差別が法的に認められ、差別を受け続けていましたが1950年には「バラ色の人生」など、そして1967年には「この素晴らしき世界」が世界的なメガヒットになりました。

アームストロングは明朗な性格で、有名になっても質素な生活を送り、人格者であったとも聞いています。この曲の様に自然に、人生に、環境に感謝をする曲を歌い、世界に広める人は、まさしく“素晴らしいひと”だと思います。

私の生活もまた、ロータリー奉仕活動も、クラブ管理、運営もこの歌詞の様に、いつも素晴らしい面を探し、認識して前向きに行動したいと思います。

“この素晴らしきロータリーを!”と……。

*a trees of green, red roses too
e them bloom for me and you
I think to myself, what a wonderful world
skies of blue and clouds of white
'gilt' blessed day, the dark sacred night
think to myself, what a wonderful world
ars of the rainbow, so pretty in the sky
so on the faces of people going by
friends shaking hands, saying how do you do?
really saying, I love you
babies cry, I watch them grow
learn much more than I'll ever know
think to myself, what a wonderful world
hink to myself, what a*





新しく採用の「クラブ研修リーダー」と「R.L.I」

地区研修委員会委員長 神谷 保男 (かみたに やすお)

ロータリー創立後100年を経て、社会の構造や事業・職業の世界が激変し、人々の意識も大きく変わって参りました。ロータリー内の世代間や、会員相互の意識・感覚・価値観なども異なって来ております。折角入会しても、ロータリーを十分に判らないまま退会する人もあります。

今こそロータリーを正しく理解した力強いリーダーにより、クラブ全体を正しく導いて頂かねばなりません。希望の持てる明日のロータリーを築くため、本年度から上記表題の二つの制度を採用することになりました。

〔1〕「クラブ研修リーダー」について

2006年11月RI理事会は、各クラブのロータリー研修を強化・充実することにより、クラブの活性化とクラブの組織を強化することを目的として、各クラブに「研修リーダー」を置くことを推奨しております。当地区としては、2010～2011年度より開始することになりました。

○任命、任期、資格要件：

クラブ会長エレクトが、クラブ研修リーダーを1名任命する。任期は1年、連続任期は3年まで。特に資格は要しないが、研修、教育の技能を持ったパスト会長、理事会メンバー、ロータリー情報委員長などが望ましい。他の役職と兼務も可。

○任務及び責務：

1. クラブの年間研修計画を立案し、実施・監督する。
 - ①クラブ指導者と共に、適宜、地区研修会に出席する。
 - ②新会員のために一貫したオリエンテーションを定期的に実施する。
 - ③現会員の継続的教育の機会を提供する。
 - ④全会員が指導力育成プログラムを受けることができるようにする。(2006年11月RI理事会、決定104号)
2. すべての研修ニーズが満たされるよう理事会、各委員会と協力する。
3. 支援とアイデアを得るために、地区研修委員会、クラブを担当するガバナー補佐、地区ガバナーと協力する。
4. 「クラブ指導力育成セミナー」を計画・実施する。

〔2〕「R.L.I=Rotary Leadership Institute」について

即ちロータリー・リーダー・シップ研究会は1992年に設立され、RIから多地区合同活動として認証された。ロータリークラブの指導者開発を目的としたプログラムで、ニュージャージー州から始まり、米国内各州、カナダ、インド、フランスにも広がり、現在では200以上の地区で採用されています。日本では、2008年6月、東京(2750地区)で開催されたのをきっかけに、広島、青森、埼玉南東地区で開催されています。

R.L.Iが設立された背景には、将来のクラブ会長やクラブ指導者が、ロータリーに対する十分な知識を持ち、効果的なクラブ造り、各種プログラムを推進させるために十分な指導力を発揮できる様、一般会員を対象に指導者育成の機会提供を目的としています。

基本的コースはPart I～Part IIIまでの3部門と「Graduate」(卒後コース)の計4部門に分かれており、1グループ10名程度を対象として対話形式を基本として行います。研修内容は各コース、1時間、1日でPart Iが完了できるプログラムです。Part I、II、IIIを受講すると「修了証書」とピンバッジが授与されます。

本年度は、主に各クラブの研修リーダーに参加して頂きますが、希望される方は一緒に参加されて結構です。

○日 時：Part I	7月25日	9：45～17：00
Part II	9月5日	10：00～17：00
Part III	12月12日	10：00～17：00

○場 所：京都リサーチパーク

○登録料：6,000円(各回)

【8月月間テーマ】 会員増強月間

「変化を考える」

地区会員増強・拡大委員会委員長 杉本 直 (すぎもと ただし)



ロータリーは奉仕の志を持つ人達の集まりで、ポール・ハリスが1905年に提唱して以来、100年を越えて存続してきたのも、新しい人々の入会によって、クラブが若返りながら成長してきたおかげであります。

当2650地区では1997年6月末には6713名を数えましたが、それ以降十数年間、毎年平均150名(1クラブ当たり:1.6名)の減少を辿っています。これに対し、皆様御承知の通り、入会の窓口を拓げる為いろいろな制度改正が行われていますが、その傾向を留める事は出来ていません。この減少は当地区のみならず日本、世界的なものであります。その原因を単に不況、不景気とするのではなく、その根本を考える必要が有ると考えます。

新会員が無いのでは有りません。多くの人々に入会して頂いています。しかし、それ以上に退会する人が多いのです。何故でしょう。それはロータリーに魅力が無いからです。もう一度ポール・ハリスが提唱した時代、歴史を振

り返り、ロータリーの魅力は何かを考え直す時が来たのではないかと。過去に戻れと云うものではありません。

新しい価値観を持つ世代が登場しています。その世代を巻き込む、魅力あるロータリーを考える必要があります。現状維持、懐古趣味では意味がありません。これは私達会社経営でも同様であります。過去の成功体験依存、現状満足では、存続は覚束きません。

年齢、性別、国籍に対する偏見排除は勿論の事、ロータリーの魅力を再確認すると共に、再構築(リ・ストラクチャー)する時が来ています。今、地区ではその活動を推進するべく、懸命の努力をされている様に見受けられます。私達会員増強・拡大委員会は単に私達委員会だけの問題としてでは無く、平井地区諮問委員、武田前年度委員長にも御指導、御協力を戴き、他の委員会との連携を通してロータリーのポテンシャル アップを目指して行こうと考えています。

手続規則委員会報告

地区手続規則委員会委員長 嵯峨 法夫 (さかのりお)



ロータリアンの皆様、地区手続規則委員会の嵯峨です。よろしくお願ひいたします。RIのDLP指針によりますと、地区手続規則委員会は「ガバナーがRI規定審議会に法案を上程するについて、これを援助補佐する」とあります。このRI規定審議会は、ロータリーの基本的なルールの改正を行う立法機関で3年に一度開催され、各地区から代表議員が派遣されます。今年開催され、次回は2013年に開催されます。

今年の、規定審議会における改正点の主なものですが、

- 1地区にEクラブを2つまで指定できることになりましたが、その 取扱は慎重にすべきでしょう。
2. 直前会長がクラブの役員ならびに理事会のメンバーとなりますので、会長エレクトと同様の取扱になります。
3. 出席義務規定適用免除の会員に「年齢が65歳以上」の条件が加わります。現在は、ロータリー歴と年齢の合計が85年以上が要件ですが、今後は、ロータリー歴と年齢の合計が85年以上、かつ、年齢が65歳以上であることが必要です。

4. 出席義務規定適用免除会員に関連してですが、出席率計算方法が変わりました。従来は、同会員は、出席率の計算に考慮しませんでした。今後は、原則として、クラブの出席率の算出には含みませんが、出席した場合には、出席者に含んで計算します。よって、地区への報告には、この計算方法で統一してください。

5. 新世代を含めて五大奉仕部門が明文化されました。(標準RC定款第5条“四大奉仕”が“五大奉仕”に)

以上の次第です。特に、2～5については、定款細則の変更が必要です。日本語版手続要覧が到着するまでには、今少し時間がかかります。上記、改正点の日本語版は、RIの日本語版HPからダウンロードできます。ちなみに、ロータリーに関するほとんどの情報は、HPから入手できます。

当委員会は、元気です。次回の規定審議会までには時間があり、今年度はいわばフリーハンドです。5名の委員は、活発な意見交換をしています。クラブや地区の運営について是非皆様のご意見をお寄せ下さい。当委員会で議論します。



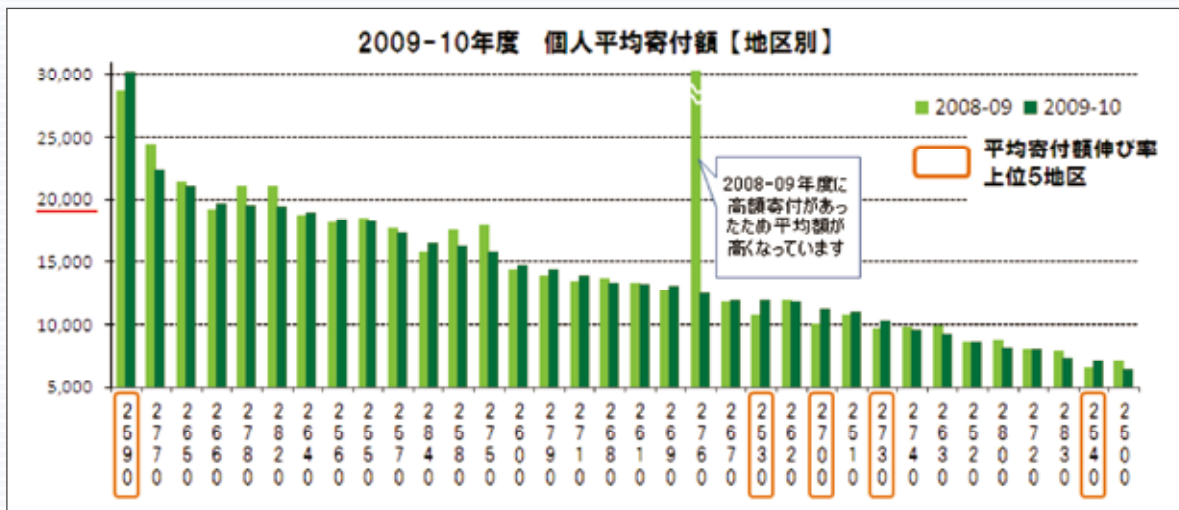
ハイライトよねやま

Vol.
125

1. 2009-10年度寄付金結果 — 目標達成ならず —

2009-10年度の寄付金は約13億2,700万円、前年度と比べて11.2%減、約1億6,700万円の減少でした。普通寄付金が2.4%減、特別寄付金が14.7%減です。予算14億5,000万円に対しても達成率は91.5% (▲1億2,300万円)にとどまりました。会員1人当たり平均寄付額が昨年度実績よりも増加した地区は15地区ありましたが、平均額が2万円以上の上位地区は6地区から3地区へと減少し、全国平均寄付額も1,283円ダウンと大変厳しい数字となりました。

奨学事業を維持・拡大するために、今年度も引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2. 新年度を迎えて — より一層の寄付増進を —

「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマとともに、新しいロータリー年度が幕を開けました。米山記念奨学会はこのテーマを実現する国際奉仕事業です。事業の成果は、さまざまな形でこの「ハイライトよねやま」で紹介してまいりました。特にここ数年は、

- ①国内全地区での学友会設立
- ②学友からの寄付増加
- ③台湾で学ぶ日本人留学生に対する奨学制度の創設を含む台湾学友会の活発な活動
- ④中国学友会の成立
- ⑤韓国学友会の再始動

など、日本のロータリアンが蒔いた種が花開いたような嬉しいニュースが相次いでおります。今後も奨学生・学友の目覚ましい活躍がこのハイライト紙面を埋めることを確信しています。これまで世話クラブとして、またはカウンセラーとして、この事業を支えていただいた多くのロータリアンに心から敬意を表するとともに、このニュースレターのご愛読をお願いいたします。

それらに加えて、この事業を支える根幹となる資金面でのご支援をお願いしなければなりません。厳しい経済情勢、会員数の減少などにより、寄付が再び減少の傾向を強めています。少子高齢化、アジア諸国の急速な経済的發展の中で、心と心の交流を通して、世界平和を目指すこの奉仕事業の意義はますます大きくなっており、新年度にあたり、重ねて寄付増進のお願いを申し上げます。(事務局長 坂下博康)



3.

米山学友のJisongさんが初アルバムをリリース

在学中に産学協同プロジェクトの歌手に選ばれ、2009年1月に『二つの宇宙』でCDメジャーデビューを果たした韓国出身の米山学友、Jisongさん(2007-08 / 大和RC)。『ロータリーの友』よねやまだより(2009年6月号)や「ハイライトよねやま109号」でご紹介したこのニュースには、多くの反響が寄せられました。そのJisongさんのファーストアルバム『The Everlasting』が6月21日にリリースされ、発売記念コンサートが6月19日、母校の昭和音楽大学(神奈川県川崎市)で開催されました。



大和RCの佐々木和夫カウンセラーや、鈴木憲治第2590地区米山記念奨学委員長をはじめ、第2780地区、第2590地区の関係者も集って聴きに訪れ見守る中、Jisongさんはアルバム収録の全曲とシングル収録曲2曲、アンコール1曲を熱唱。コンサート終了後の握手会では、一人ひとりに笑顔で感謝を伝えていました。



今回のアルバムでは、クラシックや映画音楽の名曲をアレンジし、Jisongさんならではの透き通るようなソプラノボイスを堪能できます。

ホームページ(<http://www.vap.co.jp/jisong/>)で試聴もできますので、ぜひお試しください。

4.

中国青海省地震の被災学友からメッセージ

米山学友の宋仁徳さん(2002-03 / 西都RC)は宮崎大学留学後、中国に戻り、青海省玉樹チベット自治州畜牧獣医センター所長として、ヤクの生産利用についての研究にあたっています。奨学期間後もロータリーとの交流を続け、2008年11月にはホームカミング制度での招聘を受け、第2730地区の地区大会にも参加しました。今年4月14日、宋さんの住む青海省玉樹県を震源とする大地震が発生。死者・行方不明者約2,700人、民家倒壊1万5,000軒にも及ぶ甚大な被害がありました。世話クラブの西都RCを通じて宋さんの無事は確認できたものの、メールでの連絡は取れませんでした。6月1日、ようやくインターネットに接続できるようになったと、宋さんからのメールが米山記念奨学会に届きました。それは、地震の恐ろしさを物語るとともに、口蹄疫で揺れる第2の故郷、宮崎への心情あふれるメッセージでした。



今、振り返っても4月14日は怖かったです。山からの異様な音を耳にし、「地震だ、外に逃げろ」と叫んで妻と一緒に外に出た途端、家が崩れました。壁にぶつかったものの私たちは軽い怪我で済みましたが、同じ棟の住人7人が生き埋めになりました。素手で一生懸命に掘り起こしましたが、助け出せたのは1人だけで、とても悲しかったです。4日間は被害調査や同僚の捜索、救援物資の仕分けや配布でほとんど眠る間もなく、5日目からは疫病の流行を防ぐために、85人の救急獣医救援隊とともに、4万頭を超えるヤクや羊、馬などの死骸処理と、ワクチン接種、32万平方メートルの消毒を行いました。口蹄疫で「非常事態宣言」の出た宮崎のニュースを新聞やテレビで目にし、本当に心が痛みます。動物の命を助ける獣医が動物を殺さなくてはならない、畜産農家の方々も一頭一頭名前をつけて大切に育ててきた牛を目の前で殺される。本当に気の毒でたまりません。玉樹の街が一日も早く復興しますように、また宮崎の口蹄疫も一日も早く終息しますよう、祈っています。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

事務局長: 坂下博康 編集担当: 野津・峯
TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281問い合わせメール: highlight@rotary-yoneyama.or.jp米山記念奨学会ホームページ: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

5月新入会員

クラブ名	氏名	職業分類
京都	佐伯 祐左	設備工事
京都東	佐々木 秀寿	保険
京都嵯峨野	国兼 光策	きもの作家
京都西北	松田 ●一	紙製品製造
京都西北	平野 陽	日本料理
京都西北	桂田 明久	製箱
京都西北	内橋 雅志	紙製品製造
京都紫竹	小松 正二	日本画家
福井あじさい	服部 宏和	被服工業
長浜	北川 次夫	料理仕出し
栗東	南 義彦	ホテル業
長浜北	根岸 秀典	ホテル業

6月新入会員

クラブ名	氏名	職業分類
亀岡中央	岩堀 典明	国際貿易
京都	丸尾 真哉	旅行斡旋
京都平安	檜山 高志	食品販売
京都平安	小島 裕史	造園
京都東山	中島 陽子	ホテル
京都南	橋本 和良	ブロンズ製品製造
京都南	榎野 常美	不動産仲介業
京都南	佐々木 喜一	塾経営
京都西	藤原 和正	衛生設備
京都西	松井 謙二	近郷野菜
京都西	眞田 政典	ホテル
京都西	谷口 健	建築設計
京都西	辻本 一三	損害保険
京都西	横山 卓哉	外国語大学
京都西北	瀬戸 達生	クリーニング業
宮津	村嶋 将広	リゾートホテル
平城京	國岡 奈保也	建設業
平城京	松並 規文	食品販売
平城京	森山 朋子	社会福祉
奈良	藤家 真	信託銀行
奈良	平山 博史	通信事業
奈良大宮	小川 成久	携帯電話販売

5月退会会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
京都RC	稲岡 宗傳 様	5月7日ご逝去 85歳
檀原RC	南野 寛二 様	5月14日ご逝去 81歳
檀原RC (名誉会員)	恒岡 新一 様	5月3日ご逝去 94歳
奈良東RC	松井 淳次 様	5月4日ご逝去 62歳
福井北RC	奈良 一機 様	5月2日ご逝去 69歳

5月退会会員

クラブ名	氏名	職業分類
王寺	青木 隆一	電機工事
福井北	倉橋 巧	瓦工事
福井北	澤井 利和	証券引受
勝山	安田 剛志	住宅コーディネーター
丸岡	倉田 教信	仏教
大津	阪中 昌司	損害保険
大津	重成 憲	損害保険
大津	谷 雅之	生命保険
大津西	安原 庄栄	食材企画販売
高島	佐倉 俊章	商業銀行

6月退会会員

謹んでお悔やみ申し上げます

クラブ名	氏名	日付・年齢
八日市南	向 敏男 様	6月16日ご逝去 76歳
彦根南 (名誉会員)	夏原 平次郎 様	6月19日ご逝去 91歳
京都山城	松下 正彦 様	6月20日ご逝去 74歳

文庫通信 274号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年の記念事業の一つとして1970年に創設された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

🌸 ガバナー月信より

- ◎「2010年規定審議会報告」 佐藤 秀雄 2010 3p (D.2510)
野々村 政昭 2010 3p (D.2800)
安平 和彦 2010 2p (D.2680)
- ◎「職業奉仕とは」 久邇 邦昭 2010 2p (D.2750)
- ◎「国際奉仕をやっているクラブの方が会員減少が少ないのだ!」 2010 2p (D.2720)
- ◎「重要な変更のお知らせ-1・2 (ロータリー財団寄付に関して)」 2010 2p (D.2840)
- ◎「第15回ロータリー日本青少年交換研究会報告書-1・2・3」 峯岸 則幸 2010 3p (D.2840)
- ◎「国際ロータリー青少年交換の近況」 中村 盟 2010 2p (D.2630)
- ◎「ロータリー簡単図解その4~7<ロータリー・ロータリークラブとは? / ロータリーとは? 綱領 / 決議23-34から決議92-286 / 社会奉仕を考える>」 鈴木 章夫 2009、2010 4p (D.2520)
- ◎「入って学び 出でて奉仕せよ」 村上 有司 2010 7p (D.2640)

【上記申込先：ロータリー文庫(コピー / PDF)】

ロータリー文庫 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝日

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

国際ロータリー第2650地区のHP紹介

第2650地区2010-2011年度のHPが新しくなりました。組織図やガバナーの公式日程、年間スケジュール、月信のウェブブック配信のほか、ロータリーの新着情報なども掲載しています。是非ご覧になってください。

詳しくは、<http://www.rid2650.gr.jp/>

ガバナー事務所のHPも開設

今年度のガバナー・ガバナーエレクトのHPも更新されました。福井県の栗田幸雄さんのプロフィールや公式訪問日程など、栗田ガバナーの詳細がわかります。こちらもあわせて是非ご覧になってください。

詳しくは、<http://www.rid2650elect.jp/>

編集後記

今回は二ツ穴を開けずに印刷をしてしまい、申し訳ございませんでした。今号より開けてまいりますので、よろしく願います。

また、文字の大きさも少し変更いたしました。前回よりも読みやすいサイズになったと思いますが、「もう少し大きくして欲しい」というご要望があれば、また変更いたします。

毎号を制作していくと、次号、次々号、次々々号と矢継ぎ早に原稿がやってきます。次号の制作をしながら次々号の原稿催促がやってきて、そのうちに今号が出来上がるという具合の目まぐるしさです。慣れるまでもう少し時間が必要だと感じます。



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2010-2011

国際ロータリー第2650地区
2010-2011年度 ガバナー 栗田幸雄

ガバナー事務所 ● 〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 Email: gov2010-11@rid2650.gr.jp